

平成30年度 第1回 旭区区政会議（全体会議） 議事録

1 開催日時 平成30年6月25日（月） 午後7時から午後9時まで

2 開催場所 旭区役所第2・3会議室

3 出席者

（委員）

木野議長、弾副議長、浅野委員、石中委員、井上委員、岡委員、奥田委員、鎌田委員、亀井委員、蒲委員、川井委員、岸本委員、北村委員、坂井委員、隅田委員、中野委員、藤井委員、藤本委員、三木委員、水戸岡委員、宮川委員、横田委員

（市会議員）

西崎議員、福田議員

（旭区役所）

花田区長、土居副区长、松原企画調整担当課長、前田市民協働課長、柴川まち魅力担当課長、中川窓口サービス課長、片岡保険年金担当課長、杉原保健福祉課長、小山保健・子育て支援担当課長、出口生活支援担当課長、他

4 次第

（1）開会

（2）平成30年度旭区区政会議運営・開催スケジュール（案）について

（3）平成29年度旭区運営方針の自己評価について

（4）区政運営についての委員からの直接の評価について

5 議事内容

○中尾企画調整担当課長代理

お待たせいたしました。ただ今より平成30年度第1回旭区区政会議全体会議を開会いたします。本日は御多忙の中ご出席いただきましてありがとうございます。私は本日の司会を務めさせていただきます、旭区役所総務課企画調整担当課長代理の中尾でございます。どうぞよろしく願いいたします。

最初に資料の確認ですがけれども、事前にお送りしております、次第、資料1、平成30年度旭区区政会議運営開催スケジュール案、資料2、平成29年度旭区運営方針概要版、資料3、平成29年度旭区運営方針区政会議委員評価シート、それから参考資料としまして、平

成29年度第3回旭区区政会議全体会議、平成30年3月8日開催における委員の意見への対応方針でございます。本日お持ちでない方はお申し出ください。ございますでしょうか。

また本日机上配布としまして、追加意見提案メモ、平成29年度旭区運営方針、区政会議委員評価シート、旭区役所で小中学校教科書の展示を行っていますのチラシ、それからご来場の皆様へのアンケートをお配りしております。皆さまよろしいでしょうか。

では、ご案内のとおり、当会議は原則公開とさせていただきますので、一般傍聴の方がお見えになっています。傍聴の皆さまには入口でお示しいたしました、傍聴要領に従っていただき、会議の運営にご協力いただきますようお願いいたします。本日の委員の皆さんの発言内容については、発言者氏名も含めて区役所で会議資料とともに閲覧できるようにさせていただきます外、区のホームページにおいても公表してまいります。このため、本日の会議は録音させていただいておりますので、ご了承願います。

なお、ご発言の際はお名前をおっしゃってからお願いいたします。

それでは開会に当たりまして、旭区長の花田よりごあいさつ申し上げます。

○花田区長

皆さんこんばんはお忙しいところありがとうございます。

また先週月曜日でございますけれども、大きな地震がございまして、皆さま方被害等大丈夫でしたでしょうか。本日は冒頭のあいさつに代えまして、この地震に関する被害状況等のご報告をさせていただきたいと思っております。若干長くなりますけれども、よろしくお願いたします。

先週月曜日6月18日の朝7時58分の発生でございまして、マグニチュード6.1ということで、大阪市内におきましては、北区で震度6弱、旭区につきましては5強という震度でございました。これによりまして、区役所といたしましては、区の災害対策本部を至急立ち上げるとということで、全員の動員の1号動員というのがかかりました。8時11分には、ここにおきまして区の対策本部を立ち上げたところでございます。なのでこういうのを見ていただきますと、少しなごりが見えておりまして、実はついさっき6時50分に指令が来たんですけれども、6時までは区の対策本部というものが継続していた状況でございます。つい先ほど警戒本部への変更ということで指令がまいりまして、現時点では6時時点の変更ということで、6時50分に変更、私どもとしては理解をしたんですけれども、災害対策の警戒本部のほうの仕切りということにさせていただいております。これにつきましては

情報連絡体制をとることで、いったんここでの待機等については、解除させていただこうと考えているところでございます。旭区の被害でございますけれども、実は人的被害はないんですってこの間ずっと言っていたんですけれども、少し遅れまして骨折をなさった方がお1人いらっしゃったということが判明をいたしました。地震に驚かれまして、転倒して肘を骨折なさったっていう方がお1人ありました。それ以外は特にけが等のご報告はきてございません。ということで軽傷お1人というかたちになっております。人が住んでるところの家屋の被害でございますけれども、一部破損が23棟、そして文教施設、学校等につきましては、8カ所が被害を受けてございます。この内訳でございますが、市立小学校6カ所と、府立の支援学校1カ所、それから府立の高等学校1カ所ということです。水道につきましては3戸につきまして被害がございまして、ガスは大きく3カ所でガス漏れ等の通報等があったわけですが、208戸におきましてガスが出なくなったりとかということがございました。あと、お墓の塀が1カ所崩れたというところと、倉庫が1棟少し破損したというようなことにつきましては、この1週間で情報を得ているところでございます。

非常に大きな地震でございましたけれども、想定しておりましたよりは少し被害としては軽かったかなと思う一方で、この7時58分という時間だったので、私どもとしても一定の体制が取れまして、実はこの庁舎内の被害の確認をいたしましたのと、それから職員の出勤状況等を確認しましたのちに、8時45分にはもう9時からの窓口対応をしようというふうに決めました。これは各区とも別に相談をしたわけではないんですけれども全区において1号動員という、最大級の被害体制を引きながら区役所の運営をやるという、元々全然想定していなかったような体制で今回は進んだということでございます。あとから考えると、もう少し時間を取ってやってもよかったかなというようなことは区長会議でも反省等が出てございましたけれども、一応全区役所において9時から通常窓口業務の対応しながらここで本部体制をとったということです。その際には、市の別の部門で働いておりますけれども、旭区に住んでいらっしゃる、直近参集者という人の指定が26名あるんですけれども、そのうちの20名が素早く参集をしていただきまして、初期初動体制のサポートをしていただいたということで、何とか被害の確認に行ったりとかというようなことができたところでございます。あと地域の民生委員、児童委員さん、そして地振の皆さま方、町会の皆さま方にも大変お世話になりまして、高齢者の方の安否確認でありますとか、避難所の運営等についてもご協力をいただきました。夜間の避難所の運営につきましては、

清水地域と大宮地域と、ということで最終大宮地域で避難所が閉鎖できたのが、金曜日の午前中ということになってございます。大きく旭区についての被害と、そしてその対応につきましては、今ざっと申し上げたとおりでございますが、今回いろいろと課題も浮き彫りになってまいりましたので、早期にこれは地域の方々とも共有をしながら、いざというときに本当に役に立つ防災減災、とにかく命が助かるというようなことを、次の備えにしたいというふうに区役所の職員一同思っておりますので、本日そのようなもしご意見等もございましたら合わせていただけたらというふうに思っております。

本日は昨年度の運営方針の評価についてのご意見をいただく、紙に書いていただくということの中で、ご説明を申し上げるような場になるわけでございますけれども、資料、今回はより頑張っって分かりやすいものになるようにということで準備をしてみました。まだまだ発展途上ということで、ご理解をいただきながら、どうぞ本日もよろしくお願ひいたします。

○中尾企画調整担当課長

ありがとうございました。続きまして、木野議長からごあいさつをたまわります。

○木野議長

議長を拝命しております木野でございます。今区長が言われましたように、今週間行政の方々をはじめ、大変だったと思います。ご苦労さまでございました。幸いといえば幸いなんですけどね、こういう地震が起こったときにできてなかったことってというのは本当にいっぱいあるなと思ひました。私ども病院ですけれども、幸い患者さんには問題はなかったですけれども、スタッフの体制とか、今言われたように直近の人がさっと集まれるような体制ももう一回再構築しないといけないなと思ひました。それから高槻のほうで亡くなった子どもさんのこと、あれはもう人災ですよ。ですからこういう自然災害のときに人災というものが加わるということのすごくやりきれなさというのがあります。そういう意味でも今回のことを教訓にして、普段危ないなと思ひようなところは見過ごさずにということ、私たちも改めて感じさせていただきました。

そういうことで本当に大変でしょうけれども、幅広い運営をされておりますので、本日はその評価を行政のほうの自己評価と私たちの委員の評価というのが両方加わってということでございますので、本日どうぞ最後までよろしくお願ひいたします。

○中尾企画調整担当課長代理

ありがとうございました。

それではここで委員の皆さんの本日の出欠のご報告をさせていただきます。

本日、ご欠席の委員は、天野委員、伊吹委員、浦西委員、大城委員、尾登委員、方委員、城戸委員、久米委員、戸上委員、中西委員、疋田委員。以上でございます。

現在ご出席の委員は22名でございますので、大阪市区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条第5項の規定に基づき、2分の1以上の委員にご出席いただいておりますので、本会議が成立しておりますことをご報告いたします。

本日は、旭区選出市議員の方々もお見えになっておりますのでご紹介いたします。西崎議員でございます。

○西崎議員

こんばんは。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

○中尾企画調整担当課長代理

福田議員でございます。

○福田議員

こんばんは。よろしくお願ひいたします。

○中尾企画調整担当課長代理

なお、本日も区役所の各課担当の課長が同席させていただいております。

それでは議題に入ってまいりたいと思います。

以降の議事進行は木野議長にお願ひいたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

○木野議長

それでは早速でございますが、次第に沿って進めさせていただきます。

まず議題の1、平成30年度旭区区政会議運営開催スケジュール案について、事務局よりご説明をお願いいたします。

○松原企画調整担当課長

失礼します。区役所企画調整担当課長の松原と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。座って説明させていただきます。

資料の1、平成30年度旭区区政会議運営開催スケジュール案A4の横長の分ですけれどもご覧ください。今年度の区政会議の日程の案と、それから下段になりますけれども、参考として31年度運営方針、および予算編成にかかる作業スケジュール予定というものを入れています。この2つ連動して、この区政会議および予算編成運営方針を運営してまいりたいと考えております。

まず6月25日本日ですけれども全体会議におきまして、前年度29年度の運営方針の自己評価、および委員の方々から、直接評価をいただきたいと考えております。現在予定として7月12日に、活力・安全部会、7月13日に子育て・やさしさ部会を開催したいと考えております。ここにおきましては来年度平成31年度の運営方針および予算編成に向けた意見聴取を行いたいと考えております。その皆さま方の意見に基づきまして、区役所におきましても来年度の予算それから事業につきまして考えていきたいと考えておりまして、下の政策協議を開始し、事業の検討、それから9月の中旬以降に来年度の31年度の運営方針の策定、および予算要求の事務を行います。予定ですけれども11月の月上旬に、運営方針の予算案、および予算要求の調書と31年度の予算要求の調書というのを提出してまいりますので、それを持ちまして区政会議全体会議、および部会におきまして、その状況を報告するとともに30年度、今年度の運営方針の中間報告の振り返りを行いたいと考えております。1月にはまた部会を開催し、31年度運営方針案および予算要求の状況を説明し、2月から3月にかけて全体会議を開催しまして、平成31年度予算運営方針案、それから予算についてご説明差し上げたいと考えております。スケジュール案につきましては以上でございます。

○木野議長

ありがとうございました。事務局から説明がありましたけれども、この点につきまして何かご質問ございますでしょうか。よろしいでしょうか。ではもしまた何かあればあとからということで前へ進めさせていただきます。

次に議題の2です。平成29年旭区運営方針の自己評価についてと、議題の3、区政運営についての委員からの直接の評価について、これを合わせて事務局よりご説明をお願いし

たいと思います。

○松原企画調整担当課長

失礼します。引き続き私説明させていただきます。

資料の2、平成29年度旭区運営方針概要版、パワーポイントの資料をご覧ください。合わせて前になりますけども、スクリーンで映しております、低い位置にありますので、見えにくいかと思います。体の角度等で見えにくい方もいらっしゃると思いますので、今このページを見ているかというご参考にもしていただきながら、手元の資料と合わせてご確認いただければと考えております。できるだけ皆さまに分かりやすい説明ということで、初めてやってみたものでございまして、またこれについてのご意見いただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

それでは説明いたします。平成29年度旭区運営方針の概要ということで、自己評価区役所が行いました評価につきましてご説明し、意見をいただきたいと考えております。運営方針自体は、すごく文字が多いものでございますので、なかなか見づらいと思っておりますので、この必要な部分を抜粋しここにまとめたものでございます。昨年、ご議論いただきましたビジョン、旭区将来ビジョンがおおむね5年間を見据えたものということで策定をいたしました。この運営方針につきましてはご承知のとおり毎年毎年策定をしていくものでございます。

本日は29年度が区役所が自ら行った評価につきましてご説明し、ご意見をいただくとともに、のちほどご説明いたします区政会議委員の直接評価をいただきたいと思っております。2ページをご覧ください。旭区がめざすこととして、にぎわいあり活力ある旭区づくり、子育てしやすい旭区づくり、災害に強い安全で安心な旭区づくりを目指し、区役所の役割としては、地域資源である城北公園などの活用と、商店街の活性化によるにぎわいの創出と、街の魅力の情報発信、子育てに関する支援や教育環境を強化するための施策の推進、災害対応能力向上のための施策の推進を、行ってまいります。そのために重点に取り組む主な経営課題としまして、4つ上げております。

経営課題1がにぎわいがあり、活力あるまちづくりの推進。

経営課題の2安心して子育てができる暖かいまちづくりの推進。

経営課題の3、災害に強い安全で安心なまちづくりの推進。

経営課題の4、区民サービスの充実、この4つの経営課題を挙げております。経営課題

具体化に向けまして、それぞれ各経営課題の実現に向けまして、戦略というものが設定されております。

経営課題の1につきましては、戦略が4つ、それから2には3つ、3には2つ、4には3つとなっております。

次のページをご覧ください。

まず1つ目の経営課題の1、にぎわいがあり、活力あるまちづくりの推進に戦略が3つ設定されておりますが、そのうちの1つ目、にぎわい活力の創出と商店街の振興ということで、設定しております。これが上段のページで見ていただいていると思いますが、その4ページ5ページが続きというふうに見ていただきたいと思います。戦略1の1で3点、具体的な取り組みを設定しております。城北公園を舞台にした魅力づくりと集客力の向上。旭区魅力発信事業の発信、それから商業振興事業ということで、めざす状態としましては地域のにぎわいや、活性化が進んだと感じる区民の割合、区民モニターアンケートが平成29年度末で80%目標にしておりました。ちなみにということで前年度実績が45%になります。その次のページ、5ページ下段のページになりますけど、その結果ということで城北公園フェアの区外からの来場者の割合、目標値が60%以上でしたが、29年度実績として64.7%で達成しました。

2番目、一般紙における旭区の魅力発信ということで、5件以上目標にしておりましたが7件ということで達成しました。

3つ目、商店街に魅力を感じる区民の割合ということで、目標値80%以上としておりましたが、29年度実績は71.3%ということで達成ができなかったということになります。

今後の改善策としまして、3つめ区内商店街若手メンバーをはじめ横のつながりを強化し、多様なニーズに対応した勉強会の開催に引き続き取り組んでまいります。また新たな旭区ブランドお宝の認定や、区内商店での職業体験などを通じて、区内各店舗の魅力発信を行うことでインバウンドの誘致をはじめとする新たな施策に取り組むきっかけとするなど、商店街の魅力の向上につなげていきたいと考えております。先ほどのページ、4ページの右上のところ、めざす状態というものを付けておりましたが、その結果、取り組んだ結果ということなんですけど、地域のにぎわいや活性化が進んだと感じる区民の割合が、29年度末80%を目標にしておりましたが、29年度の実績としては75.6%。その28年度の実績は45.1%でしたので、大幅に進んだものの80%には届かなかったということで、これについては未達成ということになります。

次にまいります。戦略1の2、まちづくり活動への市民参加の拡大ということで、2つの具体的な取り組み、地活協への運営支援、コミュニティの活性化を設定しております。めざす状態としては住んでいる地域で日頃から話をする相手がいる区民の割合というものを60%以上に設定しております。

下段にまいります。それぞれ業績目標を立てておりましたが、目標値が1番が達成、それから2番についてですけれども、地域活動が行われていることを知っている区民の割合として測定はちょっとできなかったんですけれども、代替アンケートの項目で地域活動に参加した方々の区民の割合については62.5%という数値が出ておることから、達成していると考えておるので達成は丸としております。それから区民対象のスポーツ大会、レクリエーション大会の活動があることを知っている区民の割合というのも、達成しているということから、住んでいる地域で日頃から話をする相手がいる区民の割合というのも、29年度実績では80%として目標を達成しました。

次のページへまいります。戦略1の3、生涯学習人権尊重の街づくりということで、3つの具体的な取り組み、生涯学習の推進、人権啓発推進と平和事業、子ども青少年の健全育成という3つの具体的取り組みを設定しました。その上でめざす状態ということで、区の啓発の取り組みの成果が上がっていると思う区民の割合というものを、平成30年度までに66%ということで、平成28年度の34.4%から3カ年かけてもっていくという目標を立てております。

次のページ見ていただきますとそれぞれの業績目標として、3つ達成をしております。めざす状態と比べてどうかということで、区の啓発の取り組みの成果が上がっていると思う区民の割合は30年度までに66%なんですけれども、29年度実績としては54.5%としてますが、達成度は丸としております。これにつきましては来年に66%ということで、先ほどの前のページの右方、前年度実績35.4%となっておりますが、それと比べて54.5%と上がっているということから、来年も達成見込みということから、達成度丸というふうにしております。

次のページへまいります。次からは経営課題の2として、安心して子育てができるあたたかいまちづくりの推進という2つ目の経営課題になります。それについて戦略を設定しております。めざす状態としては健康意識の高まりを感じる区民の割合というのを、31年度までに80%にもっていきたいと考えております。1つ目の在宅高齢者口腔検診事業、健康フェスタ、運動機能認知機能の維持向上ということで、たくさん取り組みを進めてい

るところでございます。

下のページにまいります。それぞれの1、2、3の業績目標なんですが、1番目、在宅高齢者で通院できない方を対象に口腔検診を行うということで、目標を100人と立てておったのですが、実績としては3人ということで大幅に下回ってしまいました。なかなかニーズとせっかく提案もいただいたんですけども、なかなかマッチしなかったということでこれは今後、広報と効果が見込まれる機会の働きかけということで予測してまいりたいと考えております。それから2番目の参加のべ人員につきましては、あさひ健康フェスタの参加人員ということで、550名以上と設定したところ、628名ということで丸。それから、3つめについても百歳体操や、認知予防プログラムの継続ということで丸ということになっております。

めざす状態が健康意識の高まりを感じる区民の割合ということで、31年度には80%ということで、平成29年度実績は、70.5%なんですが、まだこの調子でいくと達成できるという見込みの下で、達成丸としております。

次のページへまいります。戦略2の2地域福祉の推進でございます。右側めざす状態としては、子育てサポートの仕組みが整っていると感じる区民の割合等々書いております。それから項目も非常に多いので、はしょりますけども、具体的な取り組みとしてあさひあったかきちの充実はじめ、あさひ学び舎事業の推進まで6項目を挙げております。

下のページにまいります。それぞれ業績目標として利用者のアンケート等でやっておりますが、あさひあったかきちの利用者アンケートにつきましては90%以上目標にしてたんですけども、実績としては80%ということで達成度がペケになっております。居場所としての定着を図るための開催日を増やしたり、それから栄養相談、健康相談、保育所や幼稚園などの子育てサービスの利用に係る情報提供等の定期開催を行うことによって、満足度を向上させてまいりたいと考えております。

それから3つ目、地域の状況や生活課題についての情報提供について。目標値全10地域と考えておりましたが、実績としてはゼロということなんですが、今後ですけども、既存のネットワークを整理し現存のNPOの活動状況や、活動趣旨の情報収集に努めて、現在不足している必要なネットワークを構築してまいりたいと考えております。その他、孤立世帯の専門的な対応、参加児童の基礎的な学力や学校へのアンケートとか、あさひ学び舎事業についても効果測定で上がっているということから、達成はしていると考えております。

最後めざす状態ですけども、それぞれ子育てをサポートする仕組みが整っている感じ

る区民の割合以下、目標につきまして実績のほうが上回っているということから達成していると考えております。

次のページへまいります。戦略2の3つ目、総合的な子育て支援ということで、めざす状態としましては、子育てに関する相談やサポートに満足している割合というものを、29年度、今年度50%以上に持っていくということで、前年度実績が35.9%でございます。具体的な取り組みとして、子育て支援保健事業とあさひキッズネット、子育ての親支援事業、児童虐待防止早期発見支援体制の強化、こども食堂への支援などを挙げております。

下段にまいります。それぞれの目標値の80%以上、70%以上としておりますが、達成としましてはほぼ達成をしております。ただ5番目、こども食堂の支援につきましては未測定なんですけど、ネットワーク会議の開催などこども食堂の活動を支援し、全ての運営者から好意的な意見をいただいているということから達成しております。めざす状態のアウトカムですけども、子育てに関する相談やサポートに満足する割合を50%以上にもっていくということで設定してはいたしましたが、実績として62.7%で達成をしております。

次3つめ、経営課題の3ということで、災害に強い安全で安心なまちづくりの推進に入ります。経営課題3の1つ目、防災体制の再構築ということで、めざす状態としては防災訓練にこの3年間で1回以上参加した区民の割合を、30年度末に27%以上にもっていきたいと考えております。その具体的な取り組みとして、1番目、地域住民の命と財産を守る取り組み、2番目、防災意識の啓発活動と地域災害対策体制の確立、3番目、区職員の防災活動の強化の設定をしております。

下段のページにまいります。業績目標につきまして2つ目です。訓練の実施が成果につながっていると、回答した区民参加者の割合が目標80%に設定しておりますが、77.5%ということでわずかに至らずということになっております。

地域と連携して今後も土曜授業以外での子どもへの啓発活動の機会を調整したり、効果的なPR方法を検討してまいりたいと考えております。めざす状態につきましては、30年度末に27%以上を目標にしてはいたしまして、29年の実績で申し上げますと21.5%ということから、来年度には何とか達成できるのではないかとということで達成度丸としております。

次のページへまいります。戦略3の2、防犯対策、交通安全自転車対策の推進としまして、めざす状態は、区による防犯の取り組みの成果が上がっていると思う区民の割合を60%以上、区による交通安全の取り組みの成果が上がっていると思う区民の割合という

のを60%以上にもっていきたいということで、防犯対策の強化、交通安全自転車のマネーアップおよび放置自転車対策の強化を行いました。下段のページになります。それぞれ業績目標の目標値を60%以上としておりましたが、29年度実績で74.7%、70.6%ということで達成をいたしました。アウトカムめざす状態ですけども、それぞれ60%以上のところを74.7%、70.6%ということで達成をしております。

次のページへまいります。経営課題の4ということで区民サービスの充実、その下の戦略の1つ目、区役所の受発信機能の強化ということでめざす状態としましては、区民が求めている情報を分かりやすく提供していると感じている区民の割合を80%にもっていきたいと考えておりました。1つ目が区政会議の開催、それから2つ目広報情報発信、3つ目に広聴区民モニターの活用でございます。それぞれの達成状況ですけども、区政会議委員の区政会員に対する満足度を80%以上目標にしておりましたが、66.7%ということで、達成ができませんでした。もうちょっと資料を簡潔に分かりやすく作成したり、ご意見の反映状況についてさらに説明してまいりたいと考えております。2つ目、区広報に満足している区民の割合につきまして、80%以上目標にしておりましたところ、74.5%ということで達成はできませんでした。区広報紙については、魅力ある情報の発信として、増刊月を増やしたいと考えております。またホームページとかそれからSNSについては、迅速かつ効果的な情報発信を行いたいと考えております。3つ目、区広聴に満足している区民の割合ということで、これも61.3%として達成できませんでした。これも引き続き市民の声の施策反映事例等発信し、区民との情報共有に努めるとともに、寄せられるご意見に対しより迅速かつ的確に対応してまいりたいと考えております。めざす状態なんですけども、目標値80%以上のところ、77.9%ということで、これも達成できませんでした。今後とも達成に向けて進めてまいりたいと考えております。

次のページへまいります。戦略4の2つ目、区民から信頼される利便性の高い区役所作りでございます。めざす状態としましては来庁者への案内、証明書発行をはじめとする窓口業務につきまして、サービスの向上が図られていると感じる区民の割合を80%以上にもっていきたいということで、それぞれ職員の意識改革、区役所における窓口サービスの向上、業務スキル向上のための職員研修の実施、職員の社会貢献活動、市民活動の参加の促進を取り組んでまいりました。

下段のページになります。それぞれの業績目標なんですけども、1つ目ですね。意識改革により業務全体の再構築が進み、行政サービスの向上につながったと感じる職員の割合

につきましては、80%以上を目標にしていまいりましたが、結果未測定ということなんですけども、毎月改革支援チーム会議という業務内容の改革を行っていくための特別チームを設置しておりますけども、そこで各課の取り組みを報告、着実に意識改革は進み、行政サービスの向上につながっていることが伺えたため、達成度は丸としております。それから格付けでございますが、星2つ目標にしていまいりますが、わずかに不足ということでは1つになりました。これにつきましては、低評価にとどまった項目の原因分析を行って、弱点を明確にした上で、区役所内でのあいさつを交わし合うなど、雰囲気醸成と職員個々の意識改革に向けて研修等に取り組んでまいりたいと考えております。

他、その下ですね。研修により業務スキルが向上したと感じる職員の割合、それからコミュニティ育成に係る地域活動事業や区役所主催行事、居住地における地域活動など区役所職員のボランティア参加については、目標を達成しました。全体としましては来庁者への案内や、証明書発行はじめとする窓口業務についてのサービスの向上が図られていると感じる区民の割合につきましては、82%ということで、目標達成しております。

以上が4つの経営課題とそれぞれの戦略につきましてはの達成状況、それから課題についての分析でございます。一番最後のページ24ページにつきましては、区長の自己評価ということで、それぞれの経営課題につきまして、述べております。

○花田区長

すいません、ちょっと読み上げることで、自己評価ということでさせていただきたいと思っております。

まず1つ目でございますが、にぎわいの創出と魅力の情報発信については、人口減少や少子高齢化などの外部要因もあり、区民の実感として活性化が進んだという評価には至っていないが、5年間で5万人規模のイベントに成長した城北公園フェアの他、地域活動協議会などが主体となる季節ごとの区民参加イベントの参加者も増えており、成果を上げてきていると認識している。今後は旭区の地域魅力を効果的に発信し、集客や地域経済の活性化につなげる取り組みを行いたいと思っております。

2つ目子育て支援については、こども食堂の組織化やあさひ塾の全中学校での実施など、新たな取り組みを含め着実に「しんか」、進めたり深めたりとかをしてきたというふうに考えております。今後はあさひキッズネットを再編、強化し、旭区版ネウボラの実現をめざす。これ、ネウボラというのは、フィンランド語で相談する場所とかというような意味

があるそうでございまして、妊娠期から就学前までの切れ目のない支援、これはあさひキッズネットのめざすところと同じなんですけども、そういうものを目指していきたいというふうに思っております。

3つ目でございますが、防災、防犯の取り組みについては、いざというときに実際に機能するかを念頭に置き、地域ごとにきめ細かい取り組みを進めた。引き続き地域や関係機関との連携の下で、安全で安心なまちづくりを進めていきたいと考えております。

4つめ、区民サービスの充実につきましては、まだまだ改善の余地がございます。引き続き重点的に取り組んで、役に立つところ、役所として頑張ってもらいたいというふうに考えております。以上でございます。

○松原企画調整担当課長

以上が、平成29年度旭区運営方針につきましての自己評価の説明でございます。大変長いところ、早口ではしょって説明させていただきましたが、申しわけございませんでした。皆さまにはこのあと、ご意見いただきたいと思いますが、関連してということで、平成29年度旭区運営方針区政会議委員評価シートというA3の資料ございますでしょうか。今回の区政会議の委員の皆さまにおかれましては、旭区の運営方針の自己評価を踏まえまして直接的に評価をいただきたいということで、この様式に書いていただきたいと考えております。具体的にどう書くかということなんですけども、1のところですね。各経営課題に対する戦略は、総合的に見てめざすべき将来像の実現に有効であったと思いますかということで、1つ目の経営課題、にぎわいあり活力あるまちづくりの推進というところの項目でございますが、先ほどの概要版の4ページから9ページにあたります。

めざすべき将来像につきましては、この概要版には載っていないんですけども、旭区のめざす方向として、街の魅力が高まり、地域に愛着や誇りを感じる旭区をめざすということで設定をしております。先ほどご説明させていただきました戦略1の1、にぎわい・活力の創出と商店街振興、進行につきまして、めざす状態が達成度としては達成できなかったということなんですけども、それから戦略1の2、まちづくり活動への市民参加の拡大ということ、それから戦略1の3、生涯学習、人権尊重のまちづくりということで、それぞれ達成状況をご説明させていただきましたが、それにつきましてめざすべき将来像の実現に先の戦略は有効であるかどうかというところを率直に、思う、やや思う、あまり思わない、思わないというところを丸をしていただきまして、上記評価をつけられた理由

をこのスペース少ないですけども、そこにお書きいただくというものでございます。それぞれの経営課題ごとに1、2、3、4書いていただきまして、その上で2、一番下段ですけども、上記のような旭区の取り組みは、区の目標の実現に有効だったと思いますかということで、有効であるかないか、思う、やや思う、あまり思わない、思わないという評価をしていただき、その理由を書きいただきたいということでございます。提出期限につきましては7月13日の金曜日を設定しております。郵送または持参ということで、区役所にお越しになられた際に出していただいても結構なんですけども、次回のそれぞれの部会の予定を7月12日、7月13日に設定しておりますのでその際でも結構でございます。郵送で送られるという場合につきましては、机に返送用の封筒を置いていたかと思いますが、それに入れて区役所宛ご郵送いただきたいと考えております。区役所といたしましては平成29年度の運営方針の強化と委員の皆さまの評価というものを真摯に受け止めまして、課題の抽出、それから来年度の運営方針の策定に向けて、参考にさせていただきたいと考えております。説明は以上でございます。

○木野議長

ありがとうございました。ただ今資料2の旭区運営方針に係る自己評価について、説明がありました。これについては皆さんのご意見をお聞きしたいと思います。そのあと、資料3の区政会議委員評価シートですね。この書き方についても、またご質問をお受けしませんが、まずはいわゆる運営方針における自己評価、この内容につきまして、多くの皆さん方、委員の皆さん方にご発言いただきたいと思っております。それですから、できるだけ簡潔に、そして団体からご推薦されておられる委員は、所属団体の視点からご意見をお願いしたいと思います。

それでは十分時間とっておりますので挙手でご意見をいただければと思います。いかがでしょうか。はい、どうぞ。

○隅田委員

隅田と申します。資料2についてご質問したいんですけど、その前にこのレイアウトが変更というか、なられたのは、災害対策の関係は全くなく、これを見るためにこのレイアウトにされた。

○花田区長

実は災害対策とは全然関係なくてですね。私どもの今までだと私と副区長が前にいて、こっち側に議員の先生方いらっしゃってて、あっちに区役所の職員がいてとかっていう中で、区役所の幹部として、みんな出席をしてくれてるわけなんですけども、全然一体感なくやってたという発想があってですね。一つは、そういう区役所として責任をもってお答えをするというのをお示しするというのが一つと、もう一つは大きな口の字になってたので非常に遠くて、お話がそれぞれ委員さん同士の話っていうのしにくかったと思いますので、この会議っていうのは委員さん同士のお話をさせていただくということも大きな意味があると思っております、今回試みですね。よその区役所でこういうようなやり方をしているところがありましたので、採用させていただいたところがございます。意図としては、今申し上げました2つの意図ということでご理解ください。

○隅田委員

ありがとうございます。資料2についてなんですけど。以前の資料に比べてすごく分かりやすくなったんですけど、なってすごくよかったですけど、その分、疑問に思うところがまた出てきたので、今回はこれでいいと思うんですけど、次の点なんですけど、この目標値が60%とか80%とか50%とかいろいろあって、もちろん目標が違うのでそれぞれ変わると思うんですけど、内容によってはわりとハードルが低そうって思うものとか、ハードルが高そうって思うのがいろいろあって、達成度についても丸かバツかななんですけど、例えばですけど5ページの商店街に魅力を感じる区民が71%って結構多いかなと思うんですけど、目標を8割やからバツになっちゃってるなと思うのと、私いつも言ってるんですけど、これは13ページですけど、福祉ネットワークの構築っていうのがなかなか進んでないっていうところで、これなんかでいうと10地域でゼロ地域ってほとんど動いてないっていう状態に見えるんですけど、それと同じバツっていうのもあれかなと思ったり。そのへんがそろってないかなっていうのと、あと目標についても区民が感じることっていうのと、参加した人が答えてるっていうものと、あと職員というか当事者が答えてるものがあるんで、例えば7ページで地域活動が行われていることを知ってる区民の割合とかっていうので、行われているかどうかは知ってるかもしれないですけど、行われてる内容がどうなのかっていうところに対しての評価にはなってないと思いますし、最後の職員のとこかな。23ページのところで未測定ですけど、行政サービスの向上につながったと感じ

る職員の割合っていうの、ここは区民の割合を入れるべきやと思います。その辺をいろいろ感じました。以上です。

○木野議長

幅広くご意見いただきましたけど。

○柴川まち魅力担当課長

市民協同課まち魅力担当課長の柴川でございます。今隅田委員のほうから、商店街に魅力を感じる区民の割合、これは区民モニターのアンケートによるものですが、80%以上ということで、昨年が45%でしたので、非常に前向きにとらえておりますけども、もうちょっとやというところでございます。80%に元々数字を置きましたのは、区政委員の方の区政会議に対する満足度とか、区広報に満足してるかどうかというところが80%以上でございますけれども、一般的に満足してるかと言われたときに、どのぐらいの数字に置くのが適当か、逆に言えば残りの20%の方がまだ満足していないということでありまして、我々まだまだ高いところをめざすべきやと考えております。おっしゃるように他のやつと比較いたしますと、80が高いというのはご指摘のとおりでございますけれども、我々の目標としておりますのは、全ての方が商店街に愛着を持っていただくというところを目標としておりますので、高いところにあえて設定をさせていただきました。以上でございます。

○杉原保健福祉担当課長

保健福祉課長の杉原です。ちょうどページの13ページのところの、先ほど委員のほうからお話がありました、丸3番のネットワークのほうの0地域ということなんですけども、実は29年度のネットワーク構築についての内容が区内にあるNPOあるいは区社協さんとかということと情報共有をして、その場で事例検討を行ってその回答等を新しい方針にというような内容で事業のフレームが作られておったわけなんですけれども、実際に年度入りまして実行しよういたしますと、区内のNPOの数が少なくとも60以上存在するとか、NPOさんの内容の活動実態がなかなか区役所からはつかみにくいというような内容もありまして、この内容のほうを30年度に仕切り直しをさせていただきますして、30年度事業として取り掛かりたいというところであります。

30年度の運営方針にも、この内容をフレームの内容は変わっておるんですけど、上げさせていただいているところがございます。

○花田区長

あと少しトータルのお話としてですね。評価のめざすところがまちまちだというようなご意見がございましたけども、これにつきましては基本的に先ほど非常に意欲的な、旧にぎわい担当課長の話もありましたけれども、それぞれの担当の課長のほうで一定目標値、努力目標値というものを定めまして、それを区役所内でどんなもんかなと。達成度どのくらいかなというようなことを計るんですけども、基本的には例えばこの資料1のスケジュールを見ていただいたら分かると思うんですけども、11月の時点で翌年の運営方針素案へのご意見とかをいただく場がございます。こういう場で、区政会議の委員さんのご意見も頂戴して、例えば高すぎるんでないかい、低すぎるんでないかみたいなことをいただきながら決めてきたというふうに考えておりますので、おっしゃるようにちょっと高すぎたかなって思うところもありますけれども、今後も来年度に向けてご報告も申し上げながら、あと例えば平成30年度今進んでおりますけれども、中間の振り返りみたいなことをまた8月以降にしていきます。そこにも11月にご意見を頂戴することになっておりまして、例えばですけども、この目標値の取り方っておかしかったんじゃないのみたいなご意見もいただく余地っていうのはあるかと思っております。そういう中でより適正な評価基準っていうようなものを取りながら、修正、PDCAを回していきたいというふうに考えておるところでございます。ちなみにめざす状態のところ、目標値が前年度の実績よりも低い目標値となっているように見えるものがあるかもしれませんけれども、これにつきましても、実はこの目標値を決めたときはもう1個前の数字しか分かってなかったんですね。だから前々年度の数字しか分かってなくて、今回書くときには前年度の数字が出てまいりまして、全然目標値として去年達成してるのにお思いになるかもしれないんですけども、そういう時間的なギャップがありましてこういう事態にあいっております。ただできるだけ高い目標を持って取り組んでいきたいというのは、一同思っておりますので、またご意見等よろしく願いたいいたします。

○木野議長

ありがとうございました。隅田委員、それでよろしいでしょうか。はい。他ご意見ござ

いませんか。はい、どうぞ。石中委員。

○石中委員

すいません。石中です。私はどうしても防災リーダーなんで、どうしても防災のところ
にすぐ目がいっちゃうんですが、ここのページ見てて思うのが一つなんですけど。この評
価自体がほんまにどうだったのかというのは、この間の月曜日の震災と比べながらどうな
のかというの、ちゃんと考えたほうがいいのかなと。僕も大阪市のホームページをいろい
ろ見てたんですけど、実を言うと僕の近くの新森のほうでは避難所は開設されてなくて、
他の小学校とか開設されている部分があって、数人でしたけど避難もされてると。避難所
が開設されたからいいとかいうことではなくて、なぜ新森は開設されなくて、なぜ他のと
ころがあったのかどうか。その経緯っていうのはちゃんと確認した上で、今まで29年度
にやってきたことが効果があったのかどうかというふうに確認したほうが、ただここの数
字だけ見て、一つバツがありますけど丸だからよかったっていうのは、実際の現実と離れ
たかたちでの評価をしてしまうことになるのかなというふうに思うんですが、その辺はい
かがでしょうか。

○木野議長

お答えをよろしくお願いします。

○花田区長

本日防災を担当しております総務課長が、体調不良で外しておりますので、私から基本
的にお答え申し上げたあとで、防災担当の課長代理から補足をしてもらおうと思ってお
ります。まず避難所の開設なんですけれども、実は避難をしたいという方がまずこられるっ
ていうような中で開設をするというのが一つ動きとしてございます。そういう中で、当日
は古市と、それから清水と大宮というのが先に開設をされたんですけれども、そのあとで
すね。時間はまた彼のほうから言いますけれども、市長のほうからできるだけ不安に思っ
てるような高齢者の方、家が危ないとかではないけども、不安に思ってるような
高齢者の方に対しても対応してほしいという指令が出ましたので、そのタイミングから、
全10校下に担当者のほうを2人ずつはりつけまして、避難の方が来られたらいつでも受け
入れるようにというふうに指示を出しました。

それが午前中の少し早めの時間だったと思います。そのあと、お昼を過ぎて3時ぐらいまで対応を、現地ですてたんですけれども、その時点で来られない、地域の方にも来るようなお話が入ってないところについては、いったんこちらの体制もそれほど余裕があったわけではございませんので、早いところで3時をもって、いったん来ないところは閉めたという経過がございます。避難所については以上でございます。

あと防災についてのいろいろな課題、連絡体制、例えば医師会さんとも協定を結んでおりまして、ご連絡を取りながらというお話が合ったんですけれども、実質的には病院さんの被害状況とかの確認、後ろの壁面の一覧表にはありますけれども、そういうのは確認させていただいて、ここの病院は受け入れできますよってというような中で、具体的には木野先生のところに子どもさん入院をさせていただいたりとかっていう、個別のそういう対応はできたものの、医師会さん対区役所ってというような動きってというのが十分できなかったなとかですね。いろいろと実は反省点ございまして、今日取り急ぎ午前中にこの1週間の大きな反省点を取りまとめまして、区役所のメンバーで今拾い上げているところと、もう一つは市の本部のほうに報告をしたというところがございます。地域の方とは今日のこの防災関係のところでももちろんご意見をいただきたいと思っておりますけれども、地域の防災担当者の会議というのを、毎月第3木曜日にさせていただいております。これは防災リーダーさん、もちろんですけれども、地活協の防災部長さんでありますとか、地振の防災のご担当のあられるんです。そういう地域で3者といいいますか、そういう防災に関わる方々が皆さんおそろいになられての会議というものをしておりますけれども、そこでこちらの思いを共有もしながらご意見も頂戴して、早いタイミングで忘れないうちにしっかりと次に生かせるような、そういう動きをしていきたいというふうに考えてございます。

○福永防災等担当課長代理

私、旭区役所の防災担当の課長代理しております福永と申します。今区長からのお話のほう補足させていただきます。座らせてご説明させていただきますけれども、災害時の避難所の開設につきましては、今申し上げましたように各校下1カ所ずつ避難所を開設する前提で担当職員がいったんスタンバイをいたしました。その上で実際に避難の方が来られた学校につきましては、3校にて避難所の開設をしております。古市小学校のほうでは最大14人避難者がおられまして、その日のうちに戻られたということで、地震当日月曜日の午後5時30分に閉鎖しております。あと清水小学校のほうでも、当初最大9人おられたん

ですけれども、小学校の運営の関係の中で、近くにごさいます集会所のほうに移動いただきまして、こちらのほうは20日水曜日の午前10時に閉鎖させていただきました。あと大宮小学校のほうでも最大12人避難者の方がいらっしゃったんですけども、こちら地域の方のご協力の中で、同じく集会所のほうに移動しまして最大8人おられたんですけども、こちらのほうが区として、また市として最後の避難所になりまして22日金曜日の午前9時40分に閉鎖のほうをしております。今、区内の避難所も含めて閉鎖されて余震も土曜日あったんですけど、地震報道等は徐々に落ち着きつつあるんですけども、区役所として今引き続き被災証明書の受付であったりとか、雨漏りとか屋根瓦が動いたような方に対して防水シートの配布をさせていただいたりとか、いろいろ家屋等一部損壊あったところの現場確認等を今対応している最中がございます。

速やかに今回の地震に対してしっかりと振り返りを素早くやって、今後の教訓として生かしていきたいと思っております。今区長からもお話ありました、区役所の中の連携もそうですし、学校ですとか各地域そして各関係団体と連携して、全員でタッグを組んで、取り組んでいく、情報共有していくというのも、まだまだ不足していると思いましたが、特に今回、避難所の開設閉鎖というのがあった中で、役割分担であったりとか、情報共有という部分でも、まだまだしっかりと取り組んでいかなければいけないなと痛感しております。その他いろいろ課題ある中でしっかりと整理して次につなげてまいりたいと思います。以上です。

○木野議長

ありがとうございました。石中委員大丈夫でしょうか。

○石中委員

簡単に。

○木野議長

簡単にね。

○石中委員

回答どうもありがとうございます。例えば僕の住んでる新森に誰も来なかった。来なか

ったからよかったねと。大して被害なかったのかじゃなくて、なんで清水とか古市とかに人が来て、新森は来なかったのか。本当は不安だったけど行きようがなかったとか、例えば来た人は過去にこういうふうな防災の講習に出てこのときは行きなさいよとか、ちょっと不安あっても行きなさいというのを知ってたから来たのかどうかとか、そういうの調べないと、来なかったからよかったじゃなくて、そこせっかく来たんだったら必ずそういうふうなところも調べてほしいなど。特に僕のところはすぐちょっと4件くらい隣に80以上のおばあさんがずっと1人で住んでんの、僕も知ってはいるんです。ただあのとき僕は電車の中だったんです。会社に行く途中の。帰ってこれないですね。だから実際僕も防災リーダーなんですけど、現実役に立たないですんですよね。帰るに帰れないし、そしたらそのときどうすんのかだとかも含めて、僕らが考えていかなあかんのかな。別にそれを役所に考えると言ってるんじゃないで、僕ら一緒に考えてどうしたらいいのかというのをやっていきたいなと思うので、ぜひそういうところもちゃんと調べて、次の部会するときでも報告していただけるとプラスになるのかなと思います。よろしくお願いします。

○木野議長

ありがとうございます。そのとおりですね。では他にご意見ございませんでしょうか。いかがでしょうか。どうぞ。

○三木委員

立ってですか。座ってていいんですか。私も防災リーダーやってます三木と申します。今回地震に関連して、業績目標の中で旭区が何ができるかというような項目が、結構あるんですけど、むしろ住民主体で住民が何ができるのかと。先ほどのブロック塀の倒壊にしても、うちの町会見渡したら、随分ブロック塀がある。あるいは実際に起こったことなんですけれども、高齢の方が、うちの町会であったんですけど、家具が倒れてきて動けなくなったとかね。いわゆる我々の責任なんでしょうけども、非常に危機管理が希薄なんですね。ですからもっと行政が何をしてくれるかということもさることながら、それぞれが自己責任の中でもうちょっと、もう1歩も2歩もそういうふうに我々自身の力でできやせんかなと。そこに行政の力も借りながらね。実は今うちの町会でやってるのは、避難袋を作ってますかといういろいろなかたちで聞いているんですけどもほとんどおらないですね。これだけ災害があって、いつ何時起こるか分からないという中でも、避難袋作っておられ

ない。聞くと避難所に行ったら何でもあるんでしょうと。あほかいなということを使うわけですよ。何もなくて。水と乾パンだけやと。えーっ言うてびっくりしよるわけです。だからそれほどおんぶにだっこに肩車で、行政に対してこういう旭区これもやってる、これもやってるじゃなしに、それぞれが自己責任として、自立していかんとあんたらの命は守られへんでということをして厳しいかも分らんけど、この際もっとアピールすべきやし、行政のほうからもそういう話を自己責任において家具が倒れんようにつかえ棒自分の金で買えとかいうようなことは、あるいはブロック塀は、垣根にせいとか。

してくださいとか、せいじゃなしにしてくださいとかね。というようなことを言うていくべき時期にきてるんじゃないかな。僕が言いたいのは住民自体が、あまりにも行政に頼ってるんじゃないかな。特に高齢者の方はですね。何かやってくれるんやろなというようなかたちが目につきますので、それをうちの町会とか連合の中でも話を今進めてるところであります。別に回答はいりません。

○木野議長

ありがとうございます。非常に貴重な意見で。よろしいでしょうか。水戸岡委員ですね。

○水戸岡委員

水戸岡といいます。よろしく申し上げます。今の方のお話の延長じゃないですけども、同じことなんですけども、この間地震がありました。私も町会長になって4年目なんですけども、心配なので1軒1軒回りまして、大体200軒うちの町会にはいらっしゃるんですけど、あとで合計したら113軒ほど回って、大体6割ぐらい回りましたけども。1軒1軒回ってそのうち20軒ぐらいがお留守でした。お一人お一人に被害はなかったかということをお聞きして、今おっしゃいましたように、避難場所もどこかご存じですかということで、避難して何人避難収容できますかという話から、備蓄がどのくらい、何人分あるかということも質問しましたら、ほとんどの方がご存じないんです。回覧版も相当回しておるんですけども、私も防災は努めて防災訓練があるときは、去年も3回ほど出ましたかね、小学校でありました。あれはプロの方が消防署の方が来ているいろいろ指導されますけど、町会長あるいは防災リーダーの方がおいでくださるくらいで、一般の方に掲示板に貼って回覧版回しても、ほとんどの方が参加してなかったですね。ですからそういうことを備蓄のこととか、

避難所の場所とか何人収容できますとか、何人分備蓄ありますかと聞いても、全然ご存じないです。でも回してるはずなんですけど、こっちは言うんですけども私は私自身で、うちの6町会、高殿南6町会ですけども、6町会だよりというのを毎月回覧板を私手書きで書いて出してます。そこにも大事なことを、せめて災害に向けて3日間分ぐらいは食料・水を確保しといてくださいよということはずっと書いてるんですけども、やはり見ておられないんですね。ですからこの形式的のもので役所の方がいろいろしてくださるんですけども、はっきり言って1軒1軒訪ねたら、そのような答えが出てくるんです。これを見てから今さっきの60%、70%、80%数字が出てますけど、どこからどこまで足を運んで、実際自分で見て、お聞きになって、体で感じてそのパーセンテージを出されたのかというのは、私も疑問に思います。ここに書いた安心安全ということをやったってくださってますけども、本当に安心して安全というのは、そんなに難しい大変な費用使って、どうこうするよりも、身近な方々に常に話し合っただけ顔見知りになって、声を掛け合っただけということが大切やないかと思うんです。前もございましたけど、震度8ぐらい弱でしたか。長野県の白馬村、たくさん家が倒壊しても1人もけが人、犠牲者がなかったということから、自分たちがやっと落ち着いていろいろと村の皆さんの顔を思い浮かべながら、そこ行ってみると、案の定下敷きになっておられると。皆さんが助け合っただけからそこから引きずり出してということで、1人も犠牲者がなかった。それはなぜかといったら日頃から皆さんにお互いに声を掛け合っただけ、顔見知りになっているから何かあったときはその人を思い出すから、それでみんなはそれで足運んで行ったんだと。

だからできるだけ皆さん、日頃から声を掛け合っただけほしいということをお願いしましたね。私こんなこと言ったらなんですけど、私はうちの家の前通る人、スーパー行く方、またスーパーから買い物して、おじいちゃんおばあちゃんが帰ってられる方、結構しんどそうな方がたくさんおられます。皆さんに声かけてます。朝おはようございます、行ってらっしゃい、お帰りなさい、重たいですね、どうですか、どうぞ休めてくださいと椅子置いてそこで休んでもらうようにしてますけども、そうやって声を皆さんにかけていくと、顔見知りになって、皆さん向こうのほうから街で会っても声かけてくださいます。こういう暖かい気持ちを皆さんに浸透するというんですか、心と心のつながりが大切やないかと思うんです。かたちだけでこんだけしました、あんでけしました、こんだけしてます、パーセンテージがどうでした、それも大切でしょうけども、一人一人にそうやって身近な方々に声を掛け合っただけ、お互いが心配してあげるといようなことがなかったら、

あまりにもいろんな面が、より早くより便利な社会であって、人間の体は大昔から一つも変わってないんです。心がついていけないから、頭のいろいろと新しい病気というんですか、精神的な病気になってる方がたくさんいらっしゃいます。だからあまりにも何もかも先進んでいって、それからまた話が違いますけど、盆踊りもだんだん盆踊り大会に参加してくれる人少なくなってます、私とも。高齢者が大阪市で一番旭区が多いと。その中で高殿3丁目4丁目、私とこの地域が一番多いんです。だけど、老人会に入る方は一人もいらっしゃいません。高齢者が増えているのに老人会に入る方はいらっしゃいません。ただ今まで入っている方がお付き合いでやっと脇を抱えられて来て、会費だけ払ってるというのが現状です。ですからこれを踏まえて、もうちょっと本当に旭の区民のことを思われるんであったら、一人一人が、なかなか難しいことですが、そのような気持ちで物をもっと持って行って、昔の長屋制度じゃないですけどもどなたもお互いに話し合って助け合っていて、子どものことに関してもいろんな人がおばちゃんがいるんなことをアドバイスし合って、そういうことがありましたけども、育児ノイローゼというのは昔なかったはずですよ。だけど今は親も遠いし、近所付き合いもあまりないし、戸を閉め切ったままで。おばちゃんがこうやってがらっと戸を開けてきて、ああやでこうやでと言ってそんなこと言う人は1人もいません。そういう社会になってます。それをどう安心して安全な社会を作ろうというのであれば、どうしたらいいかいうことを地道にこつこつとどなたともお互いに話し合って、笑顔で話し合っていくというような、そういう地道な取り組みが大切やないかと思うんです。

○木野議長

水戸岡委員。

○水戸岡委員

長いことお話してすいません。

○木野議長

貴重なご意見ありがとうございました。少し時間が迫ってきてますが、まだご意見伺いたいと思いますけど。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。そうしましたら区政会議の委員の評価ということで、こちらのほうの資料3でしたかね。こちらのほうで質問ご

ざいませんでしょうか。どのように書いたらいいか分からないとかいうのはあるかもしれませんが、今回これが初めての試みなんですね。ですからもし分からなければ、見ていただいたらいいと思いますけども。

○花田区長

先ほども課長からご説明いたしましけれども、左側でございます、それぞれ経営課題が1、2、3、4とございますけれども、そのめざすべき将来像っていうものを書いてございます。これに対して、真ん中のところに書いてあります戦略。これは先ほど説明いたしました、戦略1の1とか、戦略1の2とかっていうその戦略が、有効か有効でないかっていうようなご判断をいただくというのが、今回新たに私ども区役所に課せられたミッション。区役所だけではないんですけども、全市的にそういうご評価をいただくと。

区役所においては、区政会議の委員さんからいただくというのが、新たなミッションになってございますので、これも基本的には評価シートのひな型はあるんですけども、できるだけ1枚にしなごらも文字を大きくしたり、分かりやすくってということで、担当一生懸命工夫をしてやりましたけれども、分かりにくいかなというところがあれば、今いくらでも答えられる者がおりますので、ぜひご意見を頂戴できたらというふうに思っております。

○木野議長

では井上委員。よろしく申し上げます。

○井上委員

高殿の井上です。めざすべき将来像があって、それに対する戦略があって、その戦略が有効であるかどうか。私は全部有効だと思います。問題はその戦略どおりにできたかどうかという評価が問題であって、ちょっとこれは質問というか、アンケートとしては適当ではないなと。私は全部書いてきたんですけどね。戦略は全部有効だと思います。ただその戦略どおりにうまく実施できたのかどうか。こういう評価をする項目がいるんではないか。これは次のときで結構ですけども、そのように思いました。以上です

○木野議長

ありがとうございます。そういう考え方でよろしいんですか。

○花田区長

そうです。そういうことも関係ありますから。まさしくそういうこともご意見いただきながら、先ほどご説明したのは戦略の中の個々の取り組み、もしくは戦略というようなことで挙げて数字を1つ出してありますけれども、それが達成できたかどうかというように丸バツで表現をさせていただきます。これは事実パーセンテージが区民モニターアンケートだったり、一般の方のアンケートだったりとか、例えば来場者のアンケートだったりとかっていう、それぞれの指標で取ったものが、純粋に目標値に比べてどうかっていうようなところをやりましたんですけれども、まさしく井上委員がおっしゃるように、戦略が有効だったとして、戦略に向けた取り組みがOKなのかどうかとか、取り組み項目がOKなのかどうかとか、取り組む目標が、目標値が取り組んでいる内容をきっちり表してる目標値じゃないんじゃないかとかですね。そういうことも含めて、今日のご議論をいただいてもいいのかなというふうに思っておりますので、この評価シートでは、先ほども申し上げましたように、めざすべき将来像に対して戦略は有効かどうかという言い方なので、めざすべき将来像がどうかという議論も別途あるかもしれないですね。ただこれにつきましては一定めざすべき将来像がどうか、そして戦略がどうか、そしてその戦略の中の重点的に取り組む項目がどうかってというのは、区政会議の委員様にはそれぞれのタイミングタイミングでお諮りをしてきております。29年度の運営方針については、今の委員様は多分関わってらっしゃらないというふうに思っております。実は私も関わってなかったんです。29年度についてはですね。前のチームで作成をしてくれておりましたので、そういうことはございますけれども、今の時点で見るときにどうかなっていうご意見をいただくと次に生かせると思っておりますので、ぜひそういう観点でもいただけたらと思っております。

○木野議長

よろしいでしょうか。どうぞ。石中委員。

○石中委員

石中です。中身のことじゃなくて、先ほどの意見のように戦略が有効なのかあるいはもっとここまで有効じゃないよとか、いろんな意見があると思うんですけど、それを書く欄

が少ないなど。ここに書くのは難しいなと思ってて、提出方法が郵送または持参しか書いてないんですが、例えば希望者に関してはメールでいただいて、メールで書いて返信するというそういうことは可能なんですか。

○松原企画調整担当課長

企画調整担当課長の松原です。どうもありがとうございます。貴重なご意見ありがとうございます。もし手書きということであれば裏面もしくは別紙に書いても構いませんし、メールにつきましても希望者の方にはご案内差し上げますので、メールでも構いません。

○木野議長

この三行で足りないというときは別紙を使っていただく。これは理由を具体的にということですけど、理由でなくても意見でいいわけですね。

○花田区長

今の時点でここで言うていただいても。

○木野議長

そうですか。他何かないですか。全員の委員の方に書いていただくわけですから、ぜひ疑問点があれば。どうぞ。

○井上委員

評価シートじゃないんですけども。資料2の13ページのところで先ほどもどなたか指摘されてましたが、3の項目の地域の状況や生活課題についての情報提供の業績目標が全10地域、実績がゼロ地域でベケとなっているんですが、私高殿ですが地域の者に責任があるのかなと思ったりしながら実は見てたんですが、ここで業績目標を設定されたときに私いなかったんで分からないんですが、地域の状況や生活課題についての情報提供、具体的にはどんな内容のことをここでは言われているのかなというのはちょっと分かりにくいなど。それに対して我々地域の者が情報提供すべきだったのではないのか。そういう意味では役所の問題じゃなしに我々地域の側にも問題があるのかなと思いつつながら、このところを見て若干ショックを受けております。その辺できればもう少し詳しくご説明いただければ

ありがたいんですけども。

○杉原保健福祉課長

保健福祉課長の杉原です。この13ページの丸3のところは、全てこの区役所運営のほうで、0地域というふうになったということです。内容的にはNPOさんとか、あるいは区役所、包括支援センター等で共有する地域課題等を事例検討して、このときのこの事業フレームでいきますと回答した方策について、専門家に方策で正しいかどうかご意見をいただきながら、より適切な方法を模索していこうというような内容でございました。その模索した内容を各地域の方にも知っていただきたいなという内容が出てきましたら、この10地域のほうに内容情報を提供しようというようなフレームでありましてこれは実際全て区役所の運営のところ、内容については先ほど申し上げましたが、仕切り直しということで30年度に取り掛かっていこうという内容でございます。

○木野議長

ありがとうございました。他にございませんか。どうぞ。

○川井委員

川井です。今日の議題以外のことでもよろしいでしょうか。

○木野議長

議題以外といいますと、この評価シートに関係しない。

○川井委員

ええ。今日の議題全般以外のこと。

○木野議長

ちょっと置いといていただきまして、先にこちらのほうの評価で、評価シートでもし他にご質問ある方ございませんでしょうか。では岸本さんどうぞ。

○岸本委員

新森地区の岸本です。よろしく申し上げます。今この3番のことを皆さんいろんなかたちでお話があったと思うんですけど、新森地区では一応先週の水曜日にショーケア会議という名を称して、そして東部地域包括、それから社会福祉協議会社協さん、その3者が寄って、そして会議を大体2カ月にいっぺんぐらいやってるのかな。ただ役所の方は入っていません。それは何か理由があるんかと言われると、話しがなかなか自分らの思うようにならん可能性があるという思いから、まずこの話を皆さんでこのメンバーでやってええかというメンバーは、地域振興会、それから民生、それから東部地域包括それから社会福祉協議会というメンバーでやっています。

そして今現状11件の案件を抱えています。これを皆さんにまず一番は役所のほうへどういうかたちで関わりをもたしていただけたらいいのかなというかたちで話を皆さんにさしていただいたときに、まず1番個人情報どうするの。この方の名前を新森地区の中では実情と個人名はバンバン話します。具体的な名前も言います。ご家族の方も言います。ただこれを他のところへもっていくと、これはちょっと具合悪いんちゃうかというふうに思われる可能性があるので、これをとりあえず今、杉原課長のほうへいったん上げさせてもらいたいというかたちで、こないだ話し終えたところです。あくまでこれ新森地区の話です。ですからまず個人情報の問題を我々がこの4人で共有している間はいいいけれども、これが隣近所に知れ渡って、実はこうやでというかたちのことを言われたときに、我々はせっかく情報を集めて対応しようとしても、個人情報の問題で問題になったら困るんじゃないかというかたちのことを今一つの懸案事項として、そして杉原課長のほうへとりあえずご相談に行きたいというふうに話をまとめて、先週の水曜日だったと思うんですけど、ほんまは今週に行きたかったんですけど、地震があったもんやからね。ちょっとその話をするところまでいかなかったということで。この3点ほど、話が長くなっていけませんのでお話を聞きます。旭区の災害対策本部というの立ち上がったことは私たちは一切知りません。対策本部があったということも知りません。こういうかたちの情報公開も広報していただきたい。そして清水地区、古市地区、今の避難所開設に関しても、役所のほうへ問い合わせをして初めて、避難所が開設されていますよというお話を、お受けになられるというのはそれはちょっと、まずいったん町会長さんなりそういうかたちのところに、新森地区は避難所開設しますよ、というご連絡をまず入れていただいたほうが、一般の方も分かっていたらいいのかなと。特に新森地区は新森公園、新森会館というのございますので、そういうところへ掲示するというのも一つの方法かなと。それが2点でございます。それから3点

目は、私こういう会議になかなか出る機会がなかったもので、今回初めて出させていただいたんですけど、いわゆる旭区選出の議員さん、この方と役所とはどのような連携というか協力関係をお持ちなのか。その辺のところがよく分からへんで、そういうところのご説明があれば、広報で私たちは地下鉄のこういうことで、こういうような質問をしましたという程度の自己PRの広告はありますけど、実際に役所との連携をどうしておりますというかたちのあれが私には見えてこない。先生、先生と言って、お話されておられる姿しか僕は見ていないので実際にはこういう会議をしていますよということをご説明いただければ、また議員さんとの協力いうのか、そういうかたちのこともできる。ただ単に盆踊りのときだけ来ていただくとか、そういうかたちでは少し議員さんの役からするとちょっと外れるのかなと内心思っておりますので一つよろしく願いいたします。

○木野議長

ありがとうございます。議員の先生は後ほどまたオブザーバーとしてたくさんご意見いただきますけどもまず区役所のほうから災害本部のこととかね。

○花田区長

そうですね。そうしましたら災害対策本部の立ち上げの話とかですね。

あと避難所の開設の話、そして議員さんとの関係というような、3つのご質問だったと思うんですけども、まず災害対策本部の立ち上げということにつきましては、立ち上がって、これは市役所内部の話っていうのがまず一つございます。それから市の本部との連絡体制というのがありますけれども、もちろん10地域のそれぞれの地域との連絡体制というのもありますので、地域防災リーダーさんにご連絡してるんだったかな。最初に地域とのご連絡っていうのは。

○福永防災等担当課長代理

区本部からになりますね。

○花田区長

区本部の立ち上げについて。

○福永防災等担当課長代理

まず防災リーダー隊長と連絡をとる。

○花田区長

地域という言い方のときに基本はさっきも申し上げました3つの体制がありまして、防災リーダーさん、隊長さんっていう位置付けと、それから連合町会長さん。そして地活の防災部長さんっていう方があるんですけれども、基本的には一番に連長さんだったり、防災リーダーの隊長さんとかと連絡を取るようになっています。そういう中で、地域ごとの本部っていうのかな。言い方ちょっとあれなんですけれども。立ち上げていただくとかってというような動きっていうのは並行してやることになっています。避難所につきましては先程申し上げましたように、そういう中で大体の場合は、地域のほうからうちの場合10校下ございますけれども、地域のほうから避難したいとおっしゃる方がるので、避難所開けますよっていう場合が案外多いんですけれども。先ほども申し上げましたように、今回の場合は市の本部長であります市長からの指示もございまして、いったん区の本部のほうが主導的に現場に赴いて、2人ずつ体制をとることで、いつおいでになってもいいよという体制をとったという、少しイレギュラーなところはございましたけれども、そういう避難所の開設ということになってございます。その情報につきまして、どこかに掲示があるかとかっていうところなんですけれども、そういう意味では今回情報伝達手段が、新聞でもご覧になったかかもしれませんが、実は学校が休業するっていう事実を、私たちお昼直前まで知らなかったんです。私は実は、前にもご説明したと思うんですけど、区担当の教育次長という職にもありますので、本来は知ってないといけないんですけれども、どこから情報が来て知ったかという、教育委員会事務局の教育政策課からの、区長の個人メールで知りました。ここにおりましたので、すぐそこですけれども、部屋に戻るっていうことが、昼直前ぐらいまではなかったわけなんです。そこで初めて知ったということでした。それにつきましては、それよりも少し前、さらに10分ぐらい前に、教育委員会事務局の指導部のほうから、各校長先生には、500校ぐらいございますけれども一斉メールで周知したと。なぜそんだけ時間がかかったんだといったら、連絡体制の中で通常電話を使うっていうことが通常だそうです。通常だそうなんですけれども、その電話が既に学校の子どもさん方が帰すっていう判断を既にしてたような校長先生もある中で、ご家族がいらっしゃるかどうか。いらっしゃらなかつたら帰せないということがあるので、そういう連絡を

取ってる。もしくは市長のTwitterをご覧になって、どうなってるんだっていう電話がかかってくる。そういう体制で、学校の電話も、教育委員会は電話もはち切れんばかりの状態だったらしいです。ということで、その情報が十分伝わってなかったというのがありまして、私どもも今回実は大きな課題として、MCM無線っていうのを非常に当てにしていたわけなんです。それがよくよく伝わる学校とか避難所とか、途中の場所とかっていうところと、全然駄目なところとあるんですね。なので今回の場合は実は個人持ちの携帯電話が非常に役に立ちました。これでまず電話をするとか、メールをするとか、LINEだと写真を送れるんですね。

そういうのが非常に役に立ちまして、今後複合的なルートの一つとしてこれの一斉メール送信機能であるとか、防災LINEみたいなものもつないでおく必要があるなということとを区長会議ではこの間言っておりました。メインのところをLINEに据えるってことをとてもできないですけども、補足的にそういうふうなものを使っていく必要があるなということで、情報の伝達については今回非常にいろいろと課題があったことは間違いございませんので、また地域の方からも本来であればこんな連絡っていうのは、このタイミングでもらうべきだったんじゃないのっていうおしかりを多々受けてございます。既に受けてございますけれども、お気づきの点があれば遠慮なくおっしゃっていただいて、特に医師会さん、それから歯科医師会さん、薬剤師会さんとの連携っていうのを言っておりましたのに、それもできてなかったっていうね。一番最初に申し上げたように区役所の普通の運営回しながら防災をやっちゃったっていうのが、一番のミスだったなっていうふうに思っています。だから人手が全然足りなかったんですよ、本当に。っていう中で、非常に追われてたっていうのがあります。ただ、これを教訓にして、それこそ今日の夜起こるかも、明日起こるかもしれないようなことに、すぐにでも対応できるようにみんな今情報共有してるところでございますので。あとは議員さんとの関係なんですけれども、議員さんとはお互いに例えば旭区政の情報とかを、ご説明に伺ったりとか、地域のいろいろな私どもがなかなか見えていないようなことを、教えていただいたりとかっていう中で、比較的緊密にいい連携が取れてるんじゃないかなと区役所としては思っているところです。実際災害対策本部を立ち上げましたときも、心配してくださって西崎議員、福田議員ですね。あと富田議員ですね。ここをのぞいてくださって、何か困ったこととかあればとかっていうことで、地域のことの情報もいただき、こちら何かないかっていうようなことも聞いていただき、本当に非常に心強かったということでございましたので、今後もそういう区政に関しての

情報共有、そしてご助言もいただきながら一緒になって進めていけたらなというふうに区役所としてはラブコールを送っておきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○木野議長

ありがとうございました。時間がだいぶ過ぎてきましたので、この議題の2と3につきましては、ご意見もしまだあればということで、あとからまた紙で書いていただける、簡単なことで。じゃあお願いします。

○亀井委員

亀井です。この間の地震についての避難所開設とかいろんな点について区としての反省材料とかいろんなことも述べられたんですけども、既に起こってしまって、結果として連絡が不備であるとかいろんなこと分かったということを教訓にして、今後連絡網を地域の例えばさっき出てた、連合会長なのかあるいは地域の防災隊長なのか、地活協の防災部長なのか、今聞いただけでも3人の防災関係の長というのが地域にいらっしゃるみたいなので、どこに連絡すればその地域の全員に、どういうふうなかたちで連絡が全部徹底するのかいうのをあれを事前に各地域ごとの分で決めて、その時々年度の名前ですね。電話番号等、それを役所のほうでも掌握しておかれれば10カ所の連長なり防災隊長なりに連絡することで、その地域については全部連絡が行き届くんじゃないかと思うんですけども。そういうふうに考えていただければ、今後のだいぶプラスになってくるとは思うんですけども。それと僕も初歩的な質問で申し訳ないんですけどね、区民モニターアンケートというのがありますけども、区民モニターというのは何名ぐらいいらっしゃるんですか。

○松原企画調整担当課長

企画調整担当課長の松原です。区民モニターアンケートにつきましては400名の方をお願いをしておりました。今年度につきましては区民アンケートという、ちょっとやり方を変えまして区民アンケートということで幅広くお伺いをしたいということで、区民の方無作為抽出で1,600の方々に、アンケートを実施する予定でございます。それを年2回予定しております。

○木野議長

ありがとうございました。よろしいですか。本当にごく簡単をお願いします。すみません。

○宮川委員

清水から来ました宮川です。災害については、いろんなことを区役所も今回経験されたんで、その結果を見てから意見を言わせてもらいます。一言二言三言ぐらいありますので、これに関してはね。それとは別に、今回区政会議なんで、今お話しされてます区政会議委員評価シートですけども、この対象は平成29年度と書いてあるということは30年3月31日までの件ですよ。という意味ですね。ここに書いてます。思う、やや思う、あまり思わない、思わないというのはこの戦略が昨年度どうであったかということはこのあとの4つの項目の誰かに丸を打つわけですか。当然先ほどどなたか参加者がおっしゃってましたけども、戦略自体は必要なことであるわけで、当然こういう文章にする以上、必要ないことなんか書くわけないわけで。これがどの程度のもんか、軽い思いはあるでしょうけど、内容的には。ただ当然必要なもんですけども、この結果昨年度の評価というものに対して4項目の中のどれかを丸するというところで、考え方はいいですか。

○松原企画調整担当課長

お見込みのとおりです。

○木野議長

よろしくお願いいいたします。時間がきましたので、この議題についてはこれで締めさせていただきます。川井委員、すみません。お待たせいたしました。手短によろしくお願いいいたします。

○川井委員

川井です。本日の議題と関係ないので大変恐縮なんですけども、区役所に関係とあるよりも大阪市に関係があるように思うんですけども、大阪市には各種団体が非常に多すぎるように思うんです。できあがる時とかいうか作るときといいですか、それはそれぞれ目的があって、いろいろ意義があって、皆賛成でできあがっていくんだろうと思うんですけども。横から見ますと町会なんかでも一緒なんですけども、毎年同じことをやろうとする

わけです。毎年同じことということは、3年前、5年前、10年前、いや30年前ぐらいとあまり変わらないようなことを皆やっておられるに思うわけです。それで人口も減少しておりますし、これからますます先、確実にもっと減少するという事の中で、経済もそれほど大きな成長を望めない中で、これだけの多くの団体が必要なのかと。団体が多いということはお金がたくさんいるということで、財政のほうにもいいことではないと思いますので、もっと統廃合すべきやろうというふうに思います。団体と団体が同じようなことを横のつながりがないもので同じようなことをやっているところもたくさんあるように思われますので、その辺は1回市のほうで何とかやっていただいてしていかなとあかんのちゃうかなというふうに思います。ここでそう言うとしてもしょうがないもんですね。青少年福祉委員というのありますね。正式な名前は私ちょっとよく分かりませんが、青少年福祉員、あるいは青少年児童委員というのがあるんですけども、こういう団体は今の時代不要やと思うんです。

私も青少年福祉委員、長年やってましたのでこんなこと言うんですけども、私青少年福祉委員で指導員のこと横で常に見ておまして、今指導員がやっていることが何か言いますと、年に1回1泊2日の中学生集めての行事をやるんですけども。当初は親が生活苦しくて、子どもの面倒なんか見れるようなことやなくて、夏に中学生がごろごろおったような時期に皆さん集めて、1泊2日のキャンプとか行かれたのが非常に有意義やったと思うんですけども、時代が相当変わってきまして、今やそんな1泊2日の行事は必要ないと思います。ほとんどの家庭で、小学生の間に子どもは親にあっちもこっちも連れてってもらい、中学生はクラブ活動で非常に忙しくて、そういう企画をされてもなかなか参加される方もおられない。どうされてるかという、無理やり自分らの息子や娘を連れて行って行事をやるとるわけです。何でやるんやと聞きますと、大阪市からお金をもらってるから、行事やらんとあかんねやというようなことで、やってるような状況ですので、なんか本末転倒やなと思います。そういうことでぜひこういう団体は統廃合して他の近い団体と3つを1つぐらいにしたらいんじゃないかなというふうに思っております。以上です。

○木野議長

ありがとうございました。それでは議題に関しましては、これで終了したいと思います。それでは本日ここまでにおブザーとして来ていただいております議員さんから、一言お

願いたいと思います。西崎先生からどうぞ。

○西崎委員

それでは失礼いたします。今日は今回の地震の話が多く出ておまして、ほぼそれが中心だったんじゃないかなというふうに思っております。大阪市のほうでも亡くなられた方が出ましたり、避難に合われた方、けがされた方いらっしゃいますのでお悔やみとお見舞いを申し上げたいところがございます。先ほど議員何しとんねんというようなご意見もいただきました。実は当日7時58分に地震が起こりまして、そのまま私の家族の顔だけを見て大丈夫やなというので、家を出たまま晩7時8時ぐらまで旭区の中とにかくうろろしました。避難所も全て回らせていただきました。そのような状況をじゃあどうすんねんということなんですが、災害対策本部旭区役所ここあります。と同時に、大阪市でもありますし府でもあります。特に私のほうでは、会派の中でも府本部のほうで災害対策本部があり、国でも作っております。本当に地震が起こったと同時に本部を立ち上げた。そんな中で私は旭区の人たちがどのような状況になっているのかというのを知った上で、報告をしております。国なら国に報告をしまして、国はどのようなことせないけないのかというのを考えてもらっております。と同時に大阪市のほうでは、会派として市長のほうに、これは翌日になっちゃいましたけれども、学校の壁が倒れて人が亡くなったという事例がございましたので市長に会派として申し入れをし、早急に通学路、特に壁ですね。通学路の安心安全を確認するというのを市長に申し入れをし、それを実行に移していただいたというようなことで、当然のことではありますけれども、区民の皆さんに選んでいただきました議員ですので、区民の皆さまの意見を伝えるというのが仕事だと思っておりますし、行政の方とも協力していただくところは協力していただかないと困ります。あくまでも区民の皆さまがたの味方ですので、こういう会議にも出させていただいて、皆さんの意見を聞き、これを役所行政のほうに、こういうふうにやってほしいというようなことを伝えるのが仕事だと思っております。

最後に川井委員から聞かせていただいた、各種団体が多すぎるというようなことも、当然ご意見としていただきましたので、頭に入れてこれからどのようなかたちで整理していくのかというのも考えさせていただきたいなというふうに思っているところがございます。従いまして、旭区の区政会議、これは言えば大阪市で言いますと市政の縮小版でございます。皆様方がそれぞれの委員の議会で言いますと、各専門委員会の委員の1人という

ことで意見を今言っていたいでるわけですから、そしてこれを議論していくと言うことは区民のためにやっていたいでるわけですから、しっかりと我々もその意見を耳にしていきたいなというふうに思っておりますので、今後ともご意見をよろしくお願い申し上げます。長くなってすみません。

○木野議長 ありがとうございます。では福田議員お願いします。

○福田委員

皆さん今日は最後までお疲れさまでございました。またいろいろ貴重なご意見もいただきましてありがとうございました。やっぱり今日は地震についてのそういった備えであったり、地震についての取り組みについての話もいただきましたが、私自身も今回この地震を経験する中で、まずはこの地震がどういった種類のものなのかというのをしっかりと判断をしなければいけないと。前回の東日本大震災のときには、皆さん地震が起これば津波の心配もあるので、高い所に避難をしないといけないという意識付けがあったと思うんですが、今回は阪神大震災と同じような直下型の地震でありましたので、まずはそういった高いところに行くよりは、何も無い広い場所に移動したほうが安全であるというところで、まずは初動のところでもそういった判断をしっかりとする、そういった意識付けも必要だなというふうに思いました。それと地震が発生した時間帯も、今回7時58分ってということやったんですけれども、役所の人には今回皆さん自転車で来てくださったりとかいうことで、比較的早く区役所に到着されたということなんですけれども、時間帯によって、また地震の規模とか被害の状況によっては、役所の人でも区役所に来れないという状況が起こりうるというふうに思います。先ほど皆さまからのご意見もありましたけれども普段の防災訓練とかを行う中においても、役所の人と一緒にやるというのが大事なんです、一義的に我々自身がどういうふうにもまず最初に避難をするかということも、ちゃんと想定してやらないといけない。その上で役所の災害対策本部が立ち上がったからの、こういった支援を求めらるかっていうことをつなげていくってことも、想定しておかないといけないんやなということも改めて感じたところがございます。地震の中で議員が何やとるんやという話ありましたけれども、具体的に役所と我々西崎議員とか私が何か体制をとっているわけではないんですが、これは個々の議員のそういった判断のもとやと思っております。その中で西崎議員もそうでした。私も直接区役所のほうに連絡もとらせていただいたりしながら旭区

の状況をお聞きしました。その中で、避難所が今回設置をされているということもお聞きしましたので、避難所のほう回らせていただいて実際にその中に入られている中にお話も聞かせてもらって、今困っていることはないですかとか、そういったこと全部回らせていただきました。今回大宮小学校でもブロック塀がひび割れをしているということがありましたので、その中でブロック塀をすぐ横に歩道がありましたんで、通れるかどうか分からない。危険性がありますので、いったんここは通行止めにしませうということも学校の先生と協議をしながらその上で都市整備局のほうに判断をしてもらいまして、耐震性では問題ないという結果が出ましたので、そのあとにはそこは通行できるようにしてもらったりですとか、あとは私の知ってる周りの中でもお一人暮らしのご高齢の方がたくさんいらっしゃいますので、その方のところ訪問させてもらって、大丈夫ですか、けがないですかということもさせていただきました。そういった自分で動いたり、区役所の方とのお話を聞く中で、大阪市として災害のときにこういった取り組みをすとか、この体制でいいんですかっていうのを、議会の場で我々がそれを区民の皆さんの意見として、議会に届ける。そこで意見を言うっていうのが仕事やと思っておりますので、これはまだこれからになりますけれども、そういったことも皆さんのご意見を反映していきたいというふうに思っております。

それと私がもう1点だけ、すいません。長くなって駄目なんですけど、今回震災の地震のあとで思いましたのが、旭区は空き家が多いですよ。その空き家の中で、いろんな状況があると思います。空き家でも。相続の問題があったり、実際に所有者が見つからないものとかいういろんな状況あると思うんですが、特定空き家の指定には至っていない空き家というのが、普通のおうちに比べて、地震が起こったときの倒壊の危険性というのが、高いのも多いと思うんです。これを大阪市としてどう扱っていくのかということも、これから課題としてもおかないといけないんじゃないかなという中で、旭区は比較的大阪市内でも空き家率が高い、この地域にもなっておりますんで、旭区としてもそういった問題意識というのを、大阪市のほうにも上げていただければというふうに思いましたので、またぜひともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

○木野議長

ありがとうございました。区長さん、最後に何か一言ございますでしょうか。

○花田区長

それでは本日は長時間にわたりまして、いろいろと貴重なご意見も頂戴し、ありがとうございました。今回の教訓といたしまして、いろいろとご意見も頂戴しながら、より安全な安心して住まいできるような旭区に近づけていく。これは地域の皆さま方、議員の皆さま方と手を携えて、そういうふうな動きを進めていく。そういう決意を新たにしておりますので、引き続きよろしくお願ひしたいと存じます。本日お手元に昨年度末になります、この3月に作り変えました防災マップ。これは1枚物で非常に分かりやすいものに仕上がっておりますが、この防災マップとそれから医師会さんのご協力も得まして作りまして、認知症ガイドっていうのを作りまして、入れてございます。あとは子育て支援のほうから虐待防止に関わりましてぜひPRをとということで、聞いてございますのが、1つは、里親制度のリーフレットもちょっと入れさせていただきました。これ私実は今年度中に、里親のそういう研修も私自身も受けてまいりたいなど。何らか個人的にも役に立ちたいなどという思いも持っておりますので、そういう思いも共有したいと思って入れてございます。もう一つは、保育士さん非常に足りない状況にございますので、国の制度で子育て支援員という方に、保育士さんと並行して入っていただくことで、人手を確保しようということ。これも研修があるそうでございますけれども、このリーフレットといたしますか。それも入れさせていただいております。周りの方で、そのようなご興味とかご意向があたり方にぜひお声掛けをいただけたらなと思っての入れさせていただいて、この4種類ですので一度お目通しいただきたいと存じます。本日は長時間ありがとうございました。

○木野議長

ありがとうございました。いつものことですが、追加で意見を述べたいという方がいらっしゃいましたら、本日配布されております、追加意見提案メモ、7月4日の水曜日までにファックス等で提出していただくと、本日の発言として取り扱うということで、事務局から聞いております。ぜひご活用ください。その他事務局から連絡事項ございますか。

○松原企画調整担当課長

失礼します。企画調整担当課長松原企画調整担当課長です。1つにつきましては先ほど申し上げましたけれども、意見につきましては、郵送もしくは持参もしくは希望者にはメールということで次回の部会の際でも結構ですので、お待ちいただきたいというふうに思

っておりますので、よろしくお願ひいたします。それから最後にですけれども、現在、旭区役所で小中学校教科書の展示を行っていますということで、今1階で展示を行っております。来年度から使う教科書を採択するために、候補の教科書を今展示しております。できるだけ学校に興味を持っていただきたい、関心をもっていただきたいということで、展示をしておりますので、今現在1階で展示をしておりますので、お帰りの際にできましたらお寄りいただきまして、ちらっと見ていただきまして、その際できればアンケートを同じように付けてますけれども、アンケートを書いていただきたいなと思っておりますので、時間の許す限りお願ひしたいと思います。以上です。

○木野議長

ありがとうございました。それではこれで平成30年度第1回旭区区政会議全体会議を終了いたします。皆さんお疲れさまでございました。